

松江市の紹介

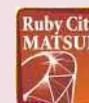
- 📌 島根県の県庁所在地。人口は約19万人。
- 📌 松江城、宍道湖などの観光資源に富み、京都・金沢に並ぶ「国際文化観光都市」
- 📌 15年間で40社の企業誘致に成功した、**プログラミング言語「Ruby」のまち**。

事業の背景



- 📌 2022年度から地域発新ビジネス創出の取り組みを本格的にスタート
- 📌 赤浦徹氏（インキュベイトファンド代表パートナー）を顧問に迎え、産学官金の連携組織「MATSUE起業エコシステムコンソーシアム」を設立

（関連事業）Ruby City MATSUEプロジェクト



- 📌 2006年から「Ruby」を軸にIT人材の育成、コミュニティ支援などを実施



一方で...

新ビジネス創出の取組は始まったばかりで、**スタートアップ**を志す若者のロールモデルが身近にいない
 地域にはエンジニアコミュニティが充実しているものの、**ビジネスサイドとの融合は道半ば**

事業の目的

- 💡 テクノロジーを武器に、地域からでも挑戦できる雰囲気醸成
- 💡 Ruby City MATSUEの哲学「エンジニアへのリスペクト」を軸にリブランド



技術者の挑戦を讃える場を
「Rubyのまち」でつくりたい！



事業構想（イメージ）

「地域」「Happy Hacking」をテーマにしたピッチイベントを開催したい！

概要 憧れのエンジニア、シード投資家が参加するピッチイベント

対象 創業X年以内の非上場企業に所属する、CTO及びCTO職に準ずる方 *出場者の居住地は問わない

内容 ピッチコンテスト

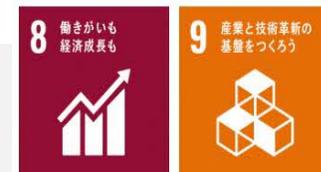
トークセッション

交流会

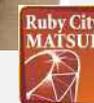
Powered by

寄附企業様

おねがいします！



MATSUE 起業エコシステム
Matsue Business Ecosystem



左：赤浦 徹氏（MATSUE起業エコシステムコンソーシアム顧問）、右：まつもと ゆきひろ氏（Ruby開発者・松江市名誉市民）

得られる成果

松江市：地域発の挑戦事例に触れる機会の創出・Ruby City MATSUEの新たなブランド創生

企業様：現代社会を支え、挑戦を続ける技術者へのエール&還元・

寄附のメリット

直接的なメリット

事業会社・CVCの皆様がピッチに参加 →投資先に出会う機会

イベント参加者との交流 →人的ネットワーク構築の機会

間接的なメリット

CSR [Keyword # 地方発新ビジネス # 技術へのリスペクト]

事業構想段階から協働・官民連携



夢を実現できるまち
誇れるまち 松江



連絡先

松江市産業経済部まつえ産業支援センター

✉ ecosystem@city.matsue.lg.jp

☎ 0852-60-7101